

海原会サロン

海城祭 2010 9.18・19
(全館開放)



日本を動かした海城の先人達 100人!

そうだ、海城へ行こう

海城の『今』を知り、旧交を温める場

海城学園のビックイベントである海城祭(文化祭)が、今年も9月18日(土)・19日(日)の2日間開催されます。学術・文化・スポーツ・芸能・音楽など多岐に亘る展示や催し物、専門家による講演会が開かれ、2万人以上の来場者が訪れます。来場者は子供さんから大人まで、PTAの方、他校の男女学生、海城進学を希望する親子連れの方など、活気あふれる景観を呈します。

海原会では一室を借りて、「海原会サロン」を開設します。会場には海城の先人たちの名前と貴重な写真

日本を動かした先人達

資料などを展示します。学生時代を振り返り、海城の『今』を知り、旧交を温める出会いの場として活用したいと考えております。海城祭は総会とは趣を異にし在校生との接触もあり、「俺も海城に居たんだ」を実感して下さい。どうぞ、ご来場下さい。

明治24年「海軍予備校」という学校が出来た。この学校こそ今日の海城学園の前身で来年創立120年を迎える。

これを機会に海城から排出した先人達の名前を掲示して、「こんな人も海城出身だったのか」と驚かされるだろう。

たとえば、太平洋戦争当時、駐米大使を務めた「野村吉三郎」だろう。戦争回避に尽力したが、不幸にして戦争が始まった。時のルーズベルト大統領に「誇れるアメリカの大親友」といわれた人。

その他、政治家・芸術家・芸能人など、楽しめるだろう。

(山本満男 記)



海原会で「応援帽子」を作りました

母校の後輩たちのスポーツ競技大会などの応援に行くときや同期会や各種イベント(ゴルフ、飲み会)などの場で活用できる海原会OB帽子(写真、3種類)を製作しました。ご希望の方には実費で販売します。ツバに刺繍の入った帽子(写真左)が1,500円、後の2つはそれぞれ1,200円です。

連絡先：安藤 浩(海原会副会長、S34年)
Tel/Fax：047-486-8022
Eメール：1210ando@jcom.home.ne.jp



■ 原稿や情報をお寄せください ■

海原会では様々な分野で活躍している同窓生諸子の声、姿をお伝えする原稿や情報を募集しています。会報やホームページで紹介し、広く会員の方々にお知らせします。原稿の場合は600字程度にまとめて、できれば電子データで投稿してください。また同窓生に関する話題や情報は自薦他薦問いません。編集員が取材して記事にさせていただきます。(原稿の掲載にあたっては編集させていただく場合がありますことをご了承ください)

Eメール：unabara@kaijo.ed.jp

郵送：〒169-0072 東京都新宿区大久保3-6-1 海城学園
海原会事務局ファックス：03-3209-6990 海原会事務局宛

海原会へ寄付

をいただきました

同期会だよりで詳しく書かれています。昭和23年・24年卒の同期会「海原三四会」から海原会に10万円の寄付をいただきました。

また個人として古屋権一氏(昭和19年卒)から5万円の寄付をいただきました。ありがとうございます。

編集担当 ※新メンバー

小川晴望 (S26)	山本満男 (S27)	片山忠美 (S28)	石原長夫 (S33)	安藤 浩 (S34)	北村 隆 (S40)	小西洋也 (S41)	国井信男 (S62)	岡本浩太郎 (H02)
------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	-------------

編集後記

◎今回の会報は16ページと盛りだくさんな内容になりました。海原会、学園、OBの方々の活動が様々な面で活発化していることを反映した結果です。◎とりわけ同期会・クラス会さらにクラブOB会など、会員同士、相互の交流も一段と盛んになっている様子で、投稿原稿も増える一方です。◎編集子にとっては嬉しい限りですが、紙面の制約を考えるとやはり限界に近い状態です。そのためホームページとの連携をこれまで以上に強化する具体的な試みも始めました。ホームページでの総会報告もぜひ合わせて見てください。◎今回から新たに3人のメンバーに編集担当に加わっていただきました。会報とホームページと連携した適時的確な編集を強化してゆくことを話し合っています。(西)



う な ば ら 海 原

題字 河原孝好先生

発行
平成22年7月17日
第32号
海城学園 海原会

〔海原会事務局〕
〒169-0072 東京都新宿区大久保3-6-1 海城学園
TEL 03-3209-5880 FAX 03-3209-6996
E-mail : unabara@kaijo.ed.jp



祝卒業60年以上
旧校章盾



祝卒業50年
携帯ストラップ



祝卒業40年
ネクタイピン



祝卒業30年
ネクタイ



祝卒業20年
タオル

卒業60年他に記念品

総会の最後はいよいよ「卒年記念品贈呈式」である。卒業から20年、30年、40年、50年、60年以上の出席者に記念品が贈呈された。時間の関係で卒年代表者に贈呈することになった。「俺たちはいつ表彰されるんだ。それまで生きているかなあ？」なんていう声もチラホラ。高齢者、このお年頃の方々は家庭においても、誕生祝ですら忘れられる今日

この頃。そう思うとお祝いが頂けるなんて貴重な経験なのかも。しかも母校で顔を合わせて無邪気に騒ぐさまは面白い。先ずは敬意を表して先輩から記念品の贈呈を始めた。祝60年以上となると昭和25年から20年くらいの卒業だろう。歳で言うとも80歳前後と思う。ところが参った。昭和4年卒の清水秀雄氏。なんと卒業してから81年経つという。まだまだ元気な98歳。これには徳光会長もビックリ。早速インタビュー、長生きの

秘訣はと問うと、「くよくよしない事です」。会長曰く、「私もそうなんですが大丈夫かな?」。会場は大爆笑。最後の祝20年卒という平成2年卒の方。並み居るなかでは若手のホープ。「海城海原会は怖いところじゃないよ。いつでもおいでよ」と会長。またしても笑いの渦。かくして卒年記念品贈呈式はながやかに終了した。

(昭和27年卒 山本満男 記)

海原会総会

200人余、一堂に集う!

海原会活動に新たな出会い

平成22年度の海原会総会は6月5日(土)に母校海城学園の講堂で盛大に開催されました。今年は卒業から数十年経ったOBに記念品を贈呈しようという新企画もあって、総会出席者は200名を超えました。その中で徳光会長は「海原会が年齢や社会的な枠などに関係なく、同じ学園に学んだものとして気楽にOBが集える癒しの場となるような組織に行ければ…」と語り、今後さらに海原会の活動を活性化させ、学園の発展に寄与して行くことを表明しました。

このような基本方針を受けて、すでにOBが声を掛け合うて、現役生徒が参加する野球などスポーツの対外試合や

吹奏楽団など文化イベントなどを積極的に応援する動きも広がっています。さらに毎年9月に学園で開催される学園

祭「海城祭」に今年から海原会として参加、OBのためのサロンを設ける計画も進んでいます(詳細は16ページ参照)。

懐かしい徽章

今年の海原会総会に出席した昭和25年卒の同期生14名は卒業後の60年の節目に当たり、記念品として懐かしい紺にNSの組み合わされた古い徽章のレプリカを頂戴した。昭和19年入学の我々は中学1、2年の2年間、当時の制帽だったカーキ色の戦闘帽にこれを縫い付けて校門をくぐったものだ。戦後すぐに敗戦国に紺はなからうということとで小判型の徽章に変わり、程なくしていまのKSマークの徽章に変わったのだ。在学中に3種類の校章を付け替えて登校したのは我々の学年だけだろう。ともかく紅顔の少年時代を沸々と思い出させてくれるありがたい贈り物だった。

(昭和25年卒 池田健一 記)

理事長
古賀喜博

広い視野を持つ人材育成

海原会が年々益々発展し、様々な企画が充実するとともに、総会にも多くの会員のご参加が実現しておりますことにお祝いを申し上げます。このことは会長をはじめ会員各位のご努力の賜物と心より敬意を表す次第であります。学校特に私立学校にとりましては生徒、保護者、教

職員は当然のこととして、同窓会の存在とその活動が特に重要なものであります。長年にわたりそして特に近年になりました、海原会の皆様が母校に対して暖かい励まし、ご協力、ご鞭撻を惜しみなく注いでいただいておりますことに深甚なる感謝の意を表したいと思います…。

さて、母校海城は来年度より一層の改革をすることにより、更なる発展を期しております。すなわち、海城教育の質の向上を求めて、真の中高一貫教育を実現いたします。また同時に世界の文化を経験してきた帰国生を今まで以上に積極的に受け入れ、国内で生活してきた生徒と共に学ぶことにより、より広い視野を持った人材を育成します。その結果とし

て、将来多くの卒業生が国内の大学のみならず海外の大学への進学を実現し、世界へと大きく羽ばたいていく道が開けていくと確信しております。高い「志」を持ち、物事に誠実に対処する「誠」の心を持ち、その上で「情熱」を持って世界を舞台に活躍する「新しい紳士」の誕生を期待しております。そのために生徒は もちろん、教員一同も努力を重ねてまいります。海原会の皆様方におかれましては、絶大なるご支援、ご鞭撻をお願いする次第であります。母校の発展の大きな力であります海原会の皆様のご発展を心より祈念いたします。

(昭和33年卒)

校長
水谷弘

完全6年一貫教育を実現

海原会の皆さま、平成22年度海原会定期総会の開催、誠にありがとうございます。心からお祝い申し上げます。日ごろ皆様におかれましては、先輩として本校の教育活動にご理解、ご協力を賜わり、心から感謝申し上げます。非力ではありますが、本校発展のために生徒の充実した学校生活と将来にわたる希望の実現のた

めに、努力してまいる所存でございます。さて、本校は完全6年一貫教育を目指して、来年度入試から高校の募集を停止し、中学（8学級320名、内訳は一般入試290名、帰国生入試30名）の募集とします。

これにより、完全6年一貫教育の学校にするという「既定路線」の仕上げに取り組むこととなります。四半世紀以上かけて中学のクラス数を少しずつ増やし、準備を進めてまいりました。ここ6、7年前から中学のクラスを増やすことによって入学生の質が高くなる傾向がよりはっきりとしてまいりました…。

近年、公立高校の授業料の無償化、学習指導要領の早期改定の動きや大学入試資格や入試制度にも変化が読み取れます。

また閉塞感の漂う国際社会は、情熱があり、コミュニケーション能力に長け、決断力のある、そして、「多文化共生」の力ある日本人の有能なリーダーを求めています。

海城中学高等学校が教育目標として標榜する『新しい紳士』は、このような世界に活躍する総和にとどまらない「創発（emergence）」する力を備えた人材の育成にあり、より一層期待されております。完全6年一貫教育を実施するなかで、建学の精神『国家・社会に有為な人材を育成する』に立つ教育を磐石なものにしてまいろうと考えております。本日はお招きいただきありがとうございます。どうぞよろしく願いいたします。



海原会会長

徳光 和夫
(昭和34年卒)

総会に寄せて



なまじ伝え手職人がゆえに、何を語ればよいのか逡巡した。海原会総会、会長としての挨拶である。まずは今年も全国屈指の進学校として勇名をはせるべく指導した教師各位、学校関係者、生徒諸君の努力にOBとして敬意を払うところからスタートした。母校のブランド価値が高くなればなるほどOB会長として権力を得たような錯覚だけは絶対に避けなければならない。

会長の任を再認識

というのもこの情報化時代、ネットなどで私が海城のOB会長に就いたことを知った見知らぬ他人から、たとえば「ウチの従姉のご主人が徳光さんのことを知っているの、わが子の海城中学入試に際して相談に乗ってもらえないか」等々これまではな

かった話もちあがる（勿論丁寧にお断りはしている）ことがあるので、改めてこの海原会会長という任は心してからねばと自己に言い聞かせている。

そこで会長役を仰せつかつてから母校の現状を観てみると、いわゆる偏差値重視教育ではないことに気づく。ともすると有名進学校は有名大学合格のための通過点になりがちだが、わが海城学園は中高通しての6年間、あるいは3年間をこの学び舎で何を為し得たか、思考を大切にしている教育が施されていると思った。

反骨精神培え

私は中高時代に培ってもらいたいのはやや尖ったくらの反骨精神、換言すれば大人社会への批判力と捉えている。現役学生諸君と話したときにこのことを感じることができ、心強さを覚えた。この時期にイエスマンになつてしまうと、あるいは身に着けてしまうと、本物の愛校心（愛国心）は宿らない例を放送現場で幾度となく見てきた。一方で、総会の最後にOBへ歓迎演奏をしてくれた吹奏楽部のレベルの高さ、レパトリーの広さに生徒たちの部活での充実度を覚えた。彼らはこの学園の中での思い出を確かに身につけ果立ってゆく確信した。

私事で恐縮だが、先般AKB48（10代を中心とした娘タレント集団）の総選挙の司会を担当した。これは彼女たちの真のファンが決める今年度

の人気ランキングのことだが、彼女たちは自分をより磨くために自らに厳しく練習を積み、その中でライバルである仲間と真の友情を見出し、ゆく。平成のアイドルである娘たちが昭和のアイドルと明らかに異なるのは選挙で当選の喜び、ランクが去年より下がった悔しさを自分の言葉で熱く語り、涙することである。

選ばれた娘も落選した娘もAKBという枠の中で驚くほどの輝きを放っていたが同じ光を母校の後輩たちに感じ取ったのは私だけではない。そしてその輝きをサポートしているのが父母たちであることも知った。わが子を海城に入れた誇りと自負が御父母の結束になり、野球場でもコンサートでも黒子に徹している姿を何度も拝見した。この御父母も子息の卒業とともに結び目が解かれてしまうことを察すると残念でならない。

柔軟性ある組織に

もし海原会としてサポートが可能であるならば、海原父母会として柔軟性のある組織を作つたらいかがなものか。但し海原会本体もあまり緻密な組織づくりをしてしまうと窮屈になつてしまう。本会はあくまでも先輩・後輩という心地よい響きを持つ二方で、海城のOBとして平等の憩いの場でなければならぬと思う。今昔を問わずあの甘いガムの香りに包まれながら老いも若きも、友と語らん、そんな場としてゆきたいと思っています。



総会出席者

(平成22年度6月5日)
出席者計210名

昭昭 昭 昭 昭昭昭昭昭
20 19 18 17 16 15 14 13 11 4

石柳松浜岡植秋古百福河根高伴加秋須稲島清水
川川谷原田木本谷瀬田合岸橋 賀山藤垣田水

丈文宏謙和昭信權 賢卓 忠利 幾徳金忠秀
二雄章之一良夫行一洋三爾正雄也智男顯作義雄

昭
26

昭
25

昭
23

立小太米森宮松友成久尾大梅石池足森花土鎌大
石竹田山新四太久堀上場沢川田立 井井田貫

博康和一 新 博林武定喬達健 昭 和 金
巳幸稔男郎郎郎仁史三郎雄二也一和雄威讓夫吾

昭
31

昭
30

昭
29

昭
28

昭
27

小康小大梅上石石大早大今杵勝片山中吉山村星
島川澤田野川井貴藤川井村岡山本村田中山田川

忠芳晋英英周康康次 芳史義信忠満泰輝安貞敏
雄夫一夫明三友夫郎弘範郎昭治美男昭一司康夫

昭昭
33 32

山森前永長利鈴古黒伊池佐村畑永中田田宗清水
本 田竹田根木賀川藤原内藤上野島川村中田水

琢正久耕節紀善叔彰長 光 三 健 三 英 康 光 哲
泉泉則雄輔二孝博彦規夫宏司 勲 郎 一郎 二 隆 雄 治

昭
35

昭
34

平日橋永高高小川井山徳鈴下篠神栗北片大安青
井比口沼橋橋池村上崎光木田 地原尾柳谷藤木

武建隆正 英洋欣晴一和雅征紘正敏進 柳徳 一
志二文直實一三也高善夫彦男弥毅朗一太義浩雄

昭
36

滝杉嶋重佐佐齊齊齊郷木木金加岡浅浅赤山藤
本山田武藤藤多藤藤野古村下子藤本倉香石中枝

紘 千欣茂洋 光邦忠康仁弘 宣光隆政 武
喬佳喧佐介寛昭雄信男史昭 紘 男夫雄行敬浩隆司

昭
40

昭
39

昭
38

昭
37

益田北海市川岡山青鷺小岡吉山水松松林寺塚田
本嶋村保ノ瀬 田木田川 本 野原田 崎 田中

信康 正 幸善良次和眞利 一 雅 慎 昭 永
正之隆人清一弘彦雄雄人一郎康勇一武策央修二

昭
45

昭
44

昭
42

昭
41

高風大宇石岡若森村見中柏角稲森森篠佐榎伊宮
橋岡野佐川 菜 尾村村倉田墻山 田 由 藤 本 藤 下

元雅雅 茂直成敏輝純穂一昭 紀昌元好一
由稔男亮康篤樹明裕郎久一 郎 洋 潤 男 弘 博 成 郎

昭
55

昭
54

昭
53

昭
52

昭
51

昭
50

昭
49

昭
47

富田鈴伊菊深四八飯内増藤小五江千河里石渡坪
山熊木藤池田家田塚山見田山味原代合村黒 淳 一 政 正

吉伸英 太 秀耕 雅 良由孝直 雄 雄 正
光好里聡郎誠治治隆之毅茂啓勝泰俊樹豊郎宏夫

平
22

平
21

平
19

平
16

平
5

平
3

平
2

昭
62

昭
61

昭
60

昭
59

昭
58

昭
56

三永赤益安湯小塩吉岡國大江松石渡山森馬野
浦嶋桐子本田川 田 岡 井 野 戸 本 所 田 辺 岸 山 場 口

一 有博圭 顯二 浩 信周良吉直雄 雄 正 毅
太宗真貴佑圭勝郎淳郎 太 男 之 輔 正 喜 一 耕 一 博 剛 水

平成21年度海原会活動報告及び平成22年度活動計画

	平成21年度活動報告	平成22年度活動計画
4月	11日 第1回合同委員会 第1回常任幹事会 会報編集会議	10日 総会案内編集会議 17日 総会案内編集会議 24日 総会案内編集会議 第1回 合同委員会 第1回 常任幹事会
5月	2日 会報「海原」31号発行 総会特別号編集会議 16日 第2回合同委員会 第2回常任幹事会	2日 総会案内発行 3日 海原吹奏楽団定期演奏会後援 22日 会報編集会議 29日 会報編集会議
6月	6日 海原会総会 13日 総務企画委員会 20日 総会特別号編集会議	5日 海原会総会 12日 会報編集会議 19日 会報編集会議 26日 会報編集会議
7月	11日 広報委員会 総会特別号編集会議 18日 総会特別号編集会議 25日 総会特別号編集会議	3日 会報編集会議 10日 会報編集会議 17日 会報「海原」32号発行
8月	1日 総会特別号編集会議 8日 総会特別号編集会議 20日 総会特別号発行	
9月	5日 広報委員会	合同委員会・常任幹事会 18・19日 海城祭参加(海原サロン)
11月	21日 第3回合同委員会	
12月	19日 海原事業アイデア会議	
2月	13日 第4回合同委員会 第3回常任幹事会 27日 事業アイデアWG会議	2～3月 合同委員会・常任幹事会
3月	6日 事業アイデアWG会議 13日 総務企画委員会 18日 海城高校卒業式・海原会賞授与※ 20日 広報委員会 27日 総会案内編集会議	18日 海城高校卒業式・海原会賞授与 (広報委員会・総務企画委員会は随時開催)

※平成21年度の海原会賞は、高山健太君(H22卒)に授与されました。

平成21年度収支計算書及び平成22年度予算

収入の部	平成21年度予算	平成21年度決算	平成22年度予算	備考
永年会費	2,000,000	2,720,000	2,000,000	
年度会費	400,000	435,000	400,000	
入会金	3,820,000	3,800,000	3,860,000	386名予定
総会参加費	380,000	441,000	500,000	
その他収入	0	12,000	0	
寄付金	0	5,000	0	
雑収入(利子)	15,000	5,468	5,000	
合計	6,615,000	7,418,468	6,765,000	
支出の部	平成21年度予算	平成21年度決算	平成22年度予算	備考
会議費	100,000	104,790	100,000	
総会運営費	800,000	700,180	1,500,000	含、総会表彰記念品作成
会報印刷発送費	3,800,000	4,203,688	4,500,000	作成発送
会報編集費	450,000	547,907	450,000	
通信費	60,000	43,020	60,000	
クラス会補助	150,000	70,000	100,000	
委員会補助	200,000	200,000	200,000	吹奏楽団後援
慶弔費	30,000	0	30,000	
振替手数料	80,000	46,145	50,000	振込入金の手数料負担
事務費	100,000	46,550	50,000	会計事務費等
海原会賞	50,000	17,665	60,000	3名を予定
総務費	260,000	283,500	252,000	名簿データ管理費用
広報活動費	450,000	490,825	490,000	サーバー維持と管理費用
ホームページ改定費	0	0	0	
備品費	0	26,515	0	
用品費	0	0	0	
寄付	0	0	0	
海原会参加費	0	0	130,000	
予備費	0	0	0	
合計	6,530,000	6,780,785	7,972,000	
前年度繰越金	13,188,327	13,188,327	13,826,010	
当年度過不足金	85,000	637,683	-1,207,000	
次年度繰越金	13,273,327	13,826,010	12,619,010	

同期会 クラス会 だより

昭和20年卒 同期会

◎平成21年10月17日 ◎参加者15名

後輩よ頑張れ

昨年と同じ後楽園で世話人石原清君の努力で15名が参集しての同期会でしたが、昨年26名が半減するのは年齢80過ぎなのでやむを得ません。例えば海城時代は勉強は半分であとは軍事教練と勤労動員で強制疎開の建物を工兵と共に壊し、人手不足の近郊農家に麦刈り、桜ゴム、日本油脂での奉仕。国鉄中央線沿線での荷役作業。中学3年半ばかり卒業までは海軍軍需工場東京光学での職工でした。20年3月卒業は旧制5年生と4年生が同時卒業で、入学時の半分となった。昭和2、3年の世界金融恐慌時代に生を受け、それからの昭和戦前の変わり目ばかりを過ごし、敗戦の焼け野原に放り出されて今日までの戦後日本の建設に働いてきました。ある意味では兵隊さんとして第



一線で亡くなった方々に負けず、時代の犠牲者だったようです。平和な今日、海城卒業と称すると立派な学校を出た人といわれ我々も鼻高々です。これからも海城の名声を上げる努力をしてください。

(加藤勇 記)

昭和23・24年卒 海原三四会

◎平成22年5月15日 ◎参加者22名

50年以上も続く集い

今年もお互いの健康を祝い合い、先に逝かれた友に黙祷を捧げ、現役で活躍している東映アニメーション会社取締役の泊懋が開会の挨拶をしてから数名ずつ円卓を囲み、

席を渡り合いながら再会を楽しみました。戦中、戦後の混乱期、苦業とともに味わった仲間たちです。米軍の空襲で電車が止まって歩いて帰宅したり、学校が空襲を受けて講堂や別館が被害を受けたとき駆けつけた仲間がいたり、真ん中に大きな樫の木があった校庭で野球やサッカーをしていた昔日の出来事が断片的に会話に入りよみがえります。今年度中にみんな傘寿を迎えます。歳相応に老いも見受けられましたが、出席した仲間は大半が元気でした。しかし親しかった何人もの友が他界している現実に触れ、一抹の寂しさも感じ



ました。その一人、昨年まで海城学園理事を務めていた故阿形明氏は自らの事務所で毎月第三土曜に仲間が集い、団欒する「三土会」を長年にわたって続けてきたのです。故人の死後遺品を整理したとき、その時のサカ代を積み立てたとみられる海原二三四会名義の預金通帳が現れ、それを私が引き継ぎました。預金残高から推測すると当時のサカ代のかなりの額を故人が支払っていたとも思えます。今回この預金通帳から金10万円を海原会に寄付させて戴きました。阿形君ありがとう。ご冥福を祈る。お互いに健康を維持し、来年の再会を祈念して閉会しましたが、今度の海原総会是我々を祝う筈です。現在の母校を見学することも価値があります。みんななるべく出席しましょう。海城学園あつての海原会。海城学園の繁栄を祈ります。

(昭和23年卒 大貫金吾 記)

昭和25年卒 同期会

◎平成21年10月27日 ◎参加者20名

主役は『坂の上の雲』

今回の主役は秋山哲児君であった。昨年11月放映開始した3年にわたるNHKスペシャルドラマ『坂の上の雲』の主人公の一人、秋山好古陸軍大將は哲児君の祖父であり、しかも「秋山兄弟記念館」（松山）の館長でもある哲児君は、このドラマ制作の支援協力に東奔西走した。福沢諭吉を尊敬していた祖父「好古」は、



ことごとくに哲児君に「兵隊になるな」といつていたそうだが、「天気晴朗ナレドモ浪高シ」で有名な大祖父「真之」に憧れ、祖父の教えに反して、海城中学に進んだという。顧みると、われわれの多くは昭和19年、第二次大戦の末期に将来の陸軍将官、海軍提督を目指して海城中学の門をくぐったものだ。しかし、中学二年で終戦、その夢はあえなく潰え去った。今年卒業60周年を迎えた。そして来年は節目の傘寿となる。生きていくことの喜びをかみしめた一夜であった。

惜しくも先立って鬼籍に入ってしまった32名の仲間には、心から黙祷をささげ、哀悼の意を表した。

(梅沢喬二 記)

喜寿を超えて

昭和26年卒 海原二六会
◎平成22年4月25日 ◎参加者7名



海原二六会は偶数月の最終日曜日に高円寺の太田稔君の店「マルシェ」で午後2時から開催している。今回は当日になつて欠席の連絡が入ったものが何人かいて、市川孝治、市川成夫、太田稔、小川晴望、小竹康幸、星川敏夫、山口準一の7名が集まった。お互い笑顔で元気を確認しながら、喜寿を超えた心境を語り合える喜びは他では味わえないもので、なかでも終戦の年の入学、それぞれが経験した空襲による被災、疎開、米兵の進駐、闇市の乱立など、今だから笑い話のひとつとして語られるが、大変厳しく苦境のなかでの学園生活だった。当事を思い起こし、現在の生活を見直すことは有意義なことであるが、そう先の無い我々としては、今

に感謝して生きてゆくことが大事であると思わせる一日だった。

(小川晴望 記)

昭和28年卒 海原二八会

◎平成22年6月19日 ◎参加者33名

淋しい級友の計報

出席できなかった私が書くことになったので会合の報告はできない。今年若松園子、益田芳徳の二人の級友が逝った。若松さんは我が家の近くで独り身だったのでいつも気にかかっていた。人知れず亡くなったらしくしばらく経ってから知った。益田君は戸山

小学校6年生以来の親友、前衛ガラ



ス作家として名を成した。これからはたびたび会って話し、けんかもできるはずであった。淋しくもむなししい。杵村君が送ってくれた写真の懐かしい友の笑顔よ、いつまでも。私ども夫婦の欠席の理由になった時子の手術について、慈恵医大出身の武藤君に心強いお世話を頂いた。年を重ねるほど同窓会の有難さを感じる。海原会の総会にも誘い合つて参加しよう。今年は勝岡君が初めて顔をみせました。海城祭(9月18、19日)には海原会のコーナーもできます。

(片山忠美 記)

昭和31年卒 31A会の集い

◎平成21年11月14日 ◎参加者17名

年輪重ねたよもやま話

恒例のクラス会には17名の健康な顔ぶれが集い、旧交を温めた。遠路新潟から参加した清水順也君差し入れの地元銘酒(一升瓶で5銘柄)が懇談を一層盛り上げてくれた。皆よく飲み、よく食べながら、在学当時の話、またそれぞれの健康、趣味、取り組んでいる仕事のことなどで盛り上がった。また近年中国吉林省の東北師範大学でマーケティングの教鞭をとって帰国した清水哲也や満州で生まれた「呼び屋の庚」こと庚芳夫、両君の実体験に基づく中国の昨今、また庚君の近著『虚人のすすめ』(集英社)の紹介などなど、年輪を重ねた視点での含蓄のあるよもやま話に花が咲いた。これからもお互い



健康で会えることの喜びと楽しみを大切にし、この会を継続させようと心に誓って散会とした。

(鈴木達雄 記)

昭和33年卒 海原三三会

◎平成21年11月20日 ◎参加者35名

古希を迎える会

今年は「古希を迎える会」となり、大貫金吾先生、関下俊英先生をお招きし盛大に開催しました。司会進行は鈴木紀孝君と池内宏君。まず物故者に黙祷し、長田耕輔君の乾杯で始められた。両先生のお元気で心の温まる祝辞を賜わり、近況報告。初参加の溝井巖君、受付で「私、誰だか分りますか」と入ってきた阿部実君、早稲田で蕎麦屋を営んでいたが後継者がなく店じまいしたと久々の山内高一君。須田三郎君は奈良から。関

西での開催はとの声も。青葉益輝君は先年受章した紫綬褒章の授与式の際に陛下にお会いして緊張した話。古賀喜博君からは隠岐島在住の松田修一君が島の生徒引率で新宿校と那須校に来校され、皆様によりしくとの報告がありました。そのほか、欠席された方からの近況メッセージを編集したコピーが配布されました。来年も6月の海原総会と海原三三会に元気な姿で再開することを誓い一本締め。写真提供は伊藤英夫君。

(前田昌則 記)



昭和34年卒 海原三四会

◎平成21年10月25日 ◎参加者60名

海原会会長が司会進行

今回は母校を卒業して50周年であることを記念しての開催で、来賓として卒業当時のC組担任・三ツ木和照先生（英語）、D組担任・関下俊英先生（生物）、そして特別に古賀喜博海城学園理事長のご来臨をいただいた。来賓の御三方から在学当時の教育理念や方策、エピソード等を



ちりばめたご挨拶を戴き、黙祷、乾杯と進行し歓談となる。ここで司会者はこの春に海原会会長に就任したばかりの徳光和夫君を指名、彼のスピーチのあと、その後の進行を委ねた。さすが熟達したプロのアナウンサー、TVの時とは一味違ったリラックスした面持ちで登壇者と楽しく会話を交わしながら滑らかにスピーチの連鎖を展開してみせてくれ、瞬間に時が過ぎていったのであった。来年は古稀の祝いの同期会、それにふさわしい宴にしたいとの気持ちを胸に二次会から家路についた。末筆になったが、この会を準備段階から宴の幕が下りるまで親身になってサポートしてくれた学園幹事の村久憲氏に心からの感謝の意を表したい。

(市川武昭 記)

第27回 湘南海原会

◎平成21年11月24日 ◎参加者8名

ウォーキングが一番

今回は河合卓爾会長（昭和18年卒）以下7名の少人数の参加となった。最近では体調不良等による欠席者も出てきており、出席者の話題の中心はやはりお互いの健康状態とか健康法の会員の中には生田實（昭和20年卒）先輩の様に湘南海岸を毎日2万歩近くウォーキングしているというような立派な話もあり、なんといいってもウォーキングが一番という結論も出たが、まあ、だましだましでも歩け



るように体調を維持することが先決のようだ。お互い健康を喜びあえるように、また確認する意味でも年2回のこの歴史ある海原会を開催しようと話し合い、次回28回の開催日を平成22年5月21日（金）と決めて散会した。

(佐藤都志雄 記)

昭和36年卒 36会定期総会

◎平成22年6月5日 ◎参加者31名

卒業50年の修学旅行を計画

早いもので6月第一週土曜日海原会総会に合わせた36会定期総会も7回目となり、来年の卒業後50年の記念行事をメイン案件にして31名で集会しました。遠く盛岡、甲府からの出席もあり実のある内容でした。50周年記念行事として、在学時に諸事情で修学旅行が取り止めになり残念な思い出を永年抱いていたので、卒業50年目の修学旅行案が成立。来年の10月ごろ、36会永年の積立金を使



用しての実施予定です。今後候補地等会員で構築して行きます。来年の海原会総会には我々50年表彰対象年度なので参加者50名超を目標に記念品の授与を予定したいと思っています。

(赤石浩 記)

昭和39年卒 海原三九会

◎平成22年6月5日 ◎参加者6名

65歳の心境語り合う

6月5日、母校で開催された海原会総会に参加した後、神楽坂のフランス料理専門店「海原三九同期会」を開催しました。46年前のクラスメートの話から始まり、65歳になった現在の心境、息子や娘、孫の話、そし



て今回参加できなかったメンバーの近況報告等、楽しみにしていた限られた3時間はあっという間に過ぎてしまいました。ゴルフ会と次回の開催を約束して終わりました。あらためて、学生時代の仲間は最高でした。写真は右から宇井世紀氏、照井耕之助氏、岡義弘氏、私、吉岡隆氏、田崎裕輔氏です。

(瀬川幸一 記)

昭和53年卒 海城中学2組

◎平成22年4月24日 ◎参加者8名

32年ぶりの再会

平成22年4月24日に新宿「八吉」で飲み会を開催いたしました。先生は池田先生のクラスでした。出席者は写真左から井上（一）、土橋、亀井、辻村、田口、井上（康）、増川、井上（悦）の8人です。みんな50歳です。という事は卒業後32年振りの再会となるわけです。皆の感想は「皆、変わってないねえ」という事です。そう32年振りにもかかわらず、あまり変わっていない（成長してない？）のです。そして、



松村孝夫君・金子克弘君・鹿島和生君等の尽力で1か月に1回位の頻度で開催しており、参加者は毎回10名程です。消息不明者かなりいますので、海原会のホームページでも案内させていただきました。

(小林裕明 記)

昭和56年卒 6年7組クラス会

◎平成22年1月9日 ◎参加者7名

来年は卒業30年

昨年1月11日に急逝した沢村正二君(通称…平太)の1周年忌に合わせて開催しました。

32年振りにもかかわらず、すぐに場は盛り上がりあつという間に2時間後に中締め。そして二次会と盛り上がりしました。今回の投稿をご覧になって、次回以降の集まりに参加希望の方は、8人の誰かに勇気を出してご連絡ください。友人の輪を、ともに増やしていきたいです。

(田口秀朗 記)

昭和52年卒 山下会

◎平成22年7月2日

担任教諭偲びクラス会

私が昭和49年4月、高校に入学した時の担任が山下秀夫先生でした。卒業してから15年後の平成4年12月に有志の呼びかけでクラス会が発足。海城高校「山下会」と命名させていただきました。惜しい事に先生は定年退職直後の平成19年7月に逝去されましたが、在りし日の面影を偲び、現在も会合(飲み会)を続けています。

Mai:mauda-sn@nifty.com

(益田浩一郎 記)

昭和63年卒 3組クラス会

◎平成22年3月14日 ◎参加席者8名

人生の年輪を実感

今年も小林先生を輪の中心にして酒を酌み交わした。海外赴任から帰ってきた者の近況報告あり、子供が中学受験を迎える者のため息あり、それぞれの人生の年輪が増えてきたことを実感した。そうは言っても生ビールのおかわりが進んでしまえば、高校生に逆戻り。昔の本館で馬鹿騒ぎ



があるのがクラス会の良いところ。来年はどんな話になるのだろうか。

出席者：庵、出井、景山、大嶋、森横川(2組)、国井

(国井信男 記)

平成5年卒 9組クラス会

◎平成22年5月1日 ◎参加者4名

少人数で盛り上がる

今年は幹事の都合でゴールデンウィーク中になってしまい、出席者が昨年に比べて大幅減!「家族サービスで参加できないよ」という苦情の連絡もあ



り、結果小林先生のほか岩間君と那須君、そして幹事下川原の4名での定例会となりました。場所は美味しい生ビールが飲

める新橋の「ビブライゼ98」。ここは前身の東京駅八重洲口にあった「灘コロンビア」のときから小林組の飲み会で使っていたところで、職人技の注ぎ方で出される極旨の生ビールがどんどん進みます。肴は名物のメンチカツと最近の海城の様子や同級生の活躍。卒業して20年近くになり、ほとんどが3度目の年男となる今年は、さらなる飛躍を目指し活躍の場を変えている人も多いようです。少人数でも盛り上がった定例会ですが、来年はまたいつもの時期に開催しますので、ふるつてご参加ください。

(下川原優一 記)

平成8年卒 3組クラス会

◎平成22年3月20日 ◎参加者5名

生ビールを堪能

今回出席者は小林先生に常連組の岩上、島、関口、西松の5名。小林先生推薦のこの店は日本ビールが旨いとの触れ込みで、ひたすら生ビールを堪能しながら盛り上がりまりました。



ンドン勤務となる関口君と時の別れを惜しみつつ散会となりました。尚最近メールアドレス等の連絡先が不明になっている人も多く、同窓会の案内も限定的になっているので今回の案内が来ている方は、西松(was@abauone-net.jp)もしくは本家(sounato@yahoo.co.jp)まで連絡をお願いします。

(西松宏一郎 記)

平成13年卒 9組クラス会

◎平成22年3月22日 ◎参加者4名

卒業10年を機に新企画も

我々が海城を卒業してから早くも9年である。



クラスメートの多くが就職し、勤務地も全国に広がっている。今回は小林先生と小生を含め4名という今までの最少人数

であったが、高島君は横浜から、伊石君は遠く仙台から参加してくれた。会では各自の現況を先生に報告したが、皆それぞれの分野で活躍しているようである。常連の木村君は今回は電話参加であったが、医師国家試験に合格したとの報告があった。我がが担任小林先生は膝、肩、腰と最近怪我ばかりしているとのこと、健康には十分留意していただきたいと願う次第である。来年は我々も卒業10周年である。これを機にクラスを超えた企画を実施したいので、小林組のメンバーは来年は是非参加していただきたい。(奥沢悦史 記)

ラグビー部 OB現役交流会

◎平成22年5月2日 ◎参加者18名

タッチフット大会で盛り上がる

去る5月2日に海城のグラウンドでラグビー部の有志OBと現役部員とのタッチフット大会が開催されました。8年



ほど前から大からOBと現役でやってきましたが、今年はその話を聞いた昭和50年代卒

の中年(？)OBの方々も参加され、総勢20名近いOBが母校のグラウンドに結集しました。1セット10分のゲームを7試合実施、OBは交代自由にしましたが、大学時代ラグビー部で活躍した選手でも、10分間もたずに途中で足がバタバタになる人が続出、体の衰えを実感することに。終了後OBは新大久保の居酒屋で親睦会を開き、学生OBと中年OBの親睦を深めました。ところで現役ラグビー部は部員不足のことですが、おもしろいオリピックの正式種目にラグビーが約90年ぶりに復活し、2019年にはラグビーワールドカップが日本で開催されます。ラグビー部OBとして多くの人がラグビーフットボールに関心を持っていただけだと思います。参加OB・・・S 53年卒2名、S 54年卒1名、S 56年卒6名、S 59年卒1名、H 18年卒3名、H 20年卒2名、H 21年卒2名、H 22年卒1名、顧問小林先生

(栗岡克典 記)

鉄道研究会 OB新年会

◎平成22年1月9日 ◎参加者25名

幹事若返りで期待

昨年に引き続き学生を中心とした平成卒の若手から、創部当時を知る昭和卒の先輩まで幅広い層が集まり、顧問の小林先生にもご参加いただきました。メンバーは昭和54年卒の永井氏を筆頭として、吉岡氏(S55)、益田氏(S56)など昭和卒のお馴染みの顔ぶれから、昨年卒業したばかりの武藤君と関口君まで総勢25名の会と相成りました。昨年は創部40周年記念として群馬県の上毛電鉄で「海城鉄研電車」を走らせるイベントを実施しましたが、今年はOB会の幹事も「若返り」を果たしましたので今後



の活躍が期待されます。さて、鉄道研究会OB会では各種の案内を連絡するメーリングリストを作成しております。本投稿をご覧になったOBの方々は是非下記のアドレスまでご連絡のほどよろしく願います。

info@kaijokenOB.com

i_hajime1335@hotmail.com

(平成18年卒 衣笠慧 記)

バドミントン部 OB有志の会

◎平成21年11月27日 ◎参加者7名

福島先生を囲んで

海城高校バドミントン部の創設以来大変なご苦労、ご尽力、ご指導をい

ただいてきた場利恵コーチが、平成19年6月に逝去された際の葬儀をきっかけに、約30年ぶりに顔を合わせた者を含めてOB 6名が福島羊一先生を囲んで旧交を温める時を持ちました。長いこと顔を合わせていなくても、すぐに打ち解けてそれぞれの近況や



懐かしい話に盛り上がり、本当に楽しい時となりました。今回は多くのOBの皆さんにも、こうした機会をお分かちするようにしなければと思いました。福島先生からは、例の合宿については毎年4月1日〜6日の日程で、栃木市の「ホテル手束」を宿舎にして行われており、OBの参加はもちろん、立ち寄りだけでも大歓迎であることや、亡き場利恵コーチの長男で海城高校バドミントン部OBの場利人氏がコーチとして現役をみていることなども伺うことができました。出席者…福島羊一先生、佐々木康博・和田功・光榮英生(以上S54年卒)、佐藤利光(S55年卒)、的場昭人・森一真(以上S57年卒)

(光榮英生 記)

スキー部 Around 70s 70代雪山を駆ける

今年で6回目になります。34年卒のスキー好きが集まって毎年雪原を滑りまわっています。この歳までスキーを続けているだけのことはあり、皆なかなかの腕前です。高速リフトで頂上まで登り、一気に麓まで下ると酷使した両脚が悲鳴を上げる、この心地よさも楽しさの一部。また山岳写真撮影も興味のひとつ、夜は当然ながら温泉を楽しみ、疲れたからだにしみこむビールの味。談論風発、夜も更けるに従って50年の歳月が一



気に縮まり、たわいない若者の集まりとなります。今年は八ヶ岳で写真には奥から神谷(ski-instructor)、小野、下田(photograph)、山崎、赤松、大谷が参加、そのほかに安藤、及川(温泉と飲み会)君がいつものメンバーです。特に決めているわけではないのでどなたでも歓迎します。

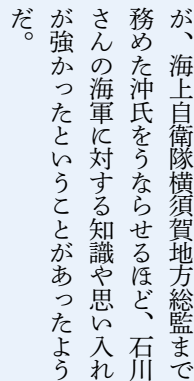
参加資格 Around 70. 幹事は下田君か大谷(n-otan@symphony.plala.or.jp) (大谷徳義 記)

いしかわたつや（昭和25年卒）

『海軍』少年三笠に乗る

司馬遼太郎の小説『坂の上の雲』のテレビドラマ化もあって、日露戦争における日本海海戦で勇名をはせた戦艦「三笠」にも再びスポットが当たっている。その三笠、幾多の困難を乗り越えて、現在は横須賀市三笠公園で保存・公開されているのだが、石川さんがこの保存事業に携わって10年以上になる。海上自衛隊のOBが中心のこの保存会に一民間人である石川さんが関わるようになってきたきっかけは、石川さんが名うての海軍オタクであることを知った当時の保存会の理事長、沖為雄氏に声をかけられたことによるという。沖氏も旧制海城中学卒（昭和22年）で、先輩後輩という関係もあったようだ

われら
海城人



石川さんが海軍に憧れたのは小学校時代に父親に釣りに連れて行ってもらったとき、横須賀から出航する航空母艦を見てからという。「海軍大将になる」と海城中学に入学し、来校する兵学校の先輩をみてはさらに憧れ、学校教練では手旗信号などもち早く覚え、教練の小隊長をやらされたというから筋金入りだ。「いま思えば兵隊ごっこみたいなものでした。でもそのときに叩き込まれた兵学校の五省はいまも忘れませんよ。一、至誠^{もとこ}に悖^{もた}る勿^なかりしか。一、言行に恥^はずる勿^なかりしか、・・・」と始まる。なかでも「至誠」は一番大

-
-
-

その後体を壊したこともあつて海軍大將になるという小学時代の夢は諦めざるを得なかつたようだが、それだけに逆に海軍への思い入れは深

またたのかもしれない。海軍関係や海戦記などの本を読み漁り、何度も江田島などゆかりの地を訪れたり、石川さんが「海軍」から離れたことはない。その「研究」の結果か、「皇

国ノ興廢、コノ一戦ニアリ……」で
 始まる日本海海戦を語りだせば、今ま
 さに目の前で展開されているがと
 く「実況中継」となる。さらにミッ
 ドウエー海戦の戦況、敗北の分析、
 そして空母「飛龍」とともに海に沈
 む山口多聞提督の悔しい思いを語る
 と止まらない。そんな石川さんの心
 の海軍がめぐり巡って「三笠」に結
 びついた。

石川さんは今、保存会の常務理事を務める傍ら、大学時代からのカメラの腕を見込まれ、保存会のカメラ記者や記録係も務めている。「観艦式などでヘリから写真を撮ったり、一般では入れないようなところも顔パスですよ」と嬉しそうに語る石川さん、いつまでも海軍少年の面影をのこしている。やはりテレビドラマの影響か最近「三笠」の見学者が増えているという。そんななか、友人の小学6年生の孫が『坂の上の雲』

してあげたと嬉しそうに語る。

(小西洋也記)



とよしまかずとら（昭和33年卒）

神影流二十五世宗家

門弟3000名武道を
通じ青少年の育成に力

「神影流二十五世・豊島虎氏は、穏やかな表情で、立てている青竹に

謹んでご冥福をお祈り
申し上げます。

◆ 卜報 ◆

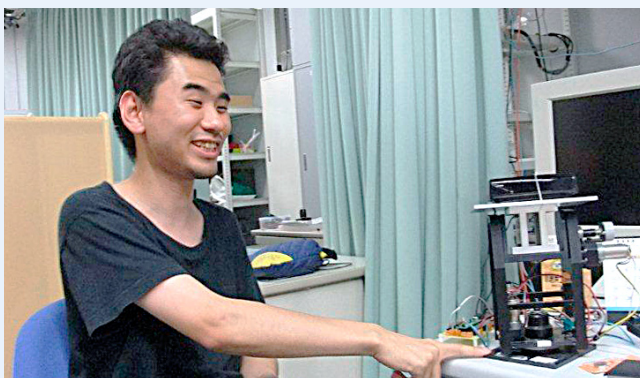
昭27	昭26		昭25				昭24		昭23			昭20		昭19		昭18		昭17	昭16	昭15		昭14		昭8	昭7		
藤原	鈴木	高野	佐久間	長山	田島	浜田	大沢	見戸	塚原	山下	鳴戸	魚谷	林	中村	常磐	渡辺	宇津井	蒔田	落合	金長	大野	宮尾	奥田	石井	森山	岸本	石倉
弘一	良二	輝泰	久夫	健次	三郎	嘉昭	長彦	省二	拓爾	昭夫	昂	和彦	亮勝	和義	一夫	三郎	均	幸雄	明	敬	邦雄	一也	一夫	茂	行雄	太郎	正太郎
21・9・23	22・2・14	20・11・8	19・12・22	21・8・3	22・3・31	21・4・29	22・4・9		22・2・26	22・1・20	22・4・8	21・9・24	20・12・23	20・7・2	21・10・26	20・12・18	21・2・4	20・11	21・7・8	21・2・3	21・1・10	21・4・4	21・6・6	22・1・7	21・7・25	21	19

-
-
-

(石原長夫 記)

東京大学大学院橋本研究室修士2年

子供のころからアニメや特撮に出てくるようなロボットを作りたいと思っていたという。海城中学では物



理部やアマチュア無線部で雑誌「大人の科学」にあるような実験をしな
り無線の部品やキットを作ったりし
た。さらに高校時代はコンピュー
ター部に入り浸り、独学で3Dゲー
ムなどのプログラムを作って、専門
雑誌への投稿などをしていたとい

-
-
-

いま鰺坂さんが取り組んでいるのは、いわば空気を読むロボット。空間の変化、たとえば人間が立っているとか、寝ているとか、手を動かしているとかによって生じる空間のひずみを様々なセンサーを駆使して認識し、その変化に反応してある動作をするロボットを作ろうとしているのだ。難しい論文テーマでいうと「電界共鳴結合を用いた人体位置推定」を基にしたロボットづくりだ。このような方式でのロボット研究は世界でも例が無く、これが実現すれば、「画期的なロボット」ができると自負している。

へルスケアーやセキユリティー分野のほか農業現場や工場などあらゆる分野で人をアシストするようなシステムを作ることができると鰺坂さんの夢は膨らむ。今後3年、博士課程を終えるまでになんとか実用化のめどをつけたいと意欲を見せている。「ひとつのことをやり続けるといいことがある。好きなことをやれ」。鰺坂さんの後輩へのメッセージだ。

（小西洋也）記

平 17	平 14	昭 54	昭 52		昭 51	昭 49	昭 45		昭 44	昭 43	昭 40	昭 39	昭 37		昭 36		昭 34	昭 32	昭 31	昭 30	昭 29	昭 28								
清 水	野 口	大 崎	清 水	山 中	金 谷	児 山	田 中	小 林	後 藤	袖 山	神 谷	木 村	森 祥 一 郎	山 田	鈴 木 喜 吉	田 辺 賢 一 郎	阪 伊 藤	松 本 顯 彦	大 脇 光 雄	飯 坂 雅 夫	柳 澤 理	實 松 欣 也	名 取 功	渋谷 昭 榮	米 山 宏	松 田 郁 男	池 田 滋	益 田 芳 徳	若 松 園 子	谷 田 部 幾 次
和 之	浩 良	政 義	孝 史	光 弘	忠 昭	芳 雄	信 行	文 夫	直 治	望	明 良	眞 一	祥 一 郎	秀 志	喜 吉	章 彦	明	顯 彦	光 雄	雅 夫	理	欣 也	功	昭 榮	宏	郁 男	滋	芳 徳	園 子	
22 ・ 4 ・ 17	20 ・ 8 ・ 27	22 ・ 4 ・ 14		19 ・ 7 ・ 4	21	20 ・ 11 ・ 29	21 ・ 7	21 ・ 11 ・ 17	17 ・ 3	19	22 ・ 3 ・ 17	20 ・ 4 ・ 28	20 ・ 4	20 ・ 3 ・ 27	22 ・ 2 ・ 6	22 ・ 2 ・ 16	22 ・ 4 ・ 19	21 ・ 8		21 ・ 1	22 ・ 4 ・ 9	20 ・ 10	21 ・ 8 ・ 27	21 ・ 9	22 ・ 2 ・ 28		20 ・ 10 ・ 28	22 ・ 6 ・ 11	22 ・ 3 ・ 2	

バスケット部

部員／中学80名・高校30名

外部コーチを一人招聘していること。ただ、進学校の宿命で、学年が進むにつれ、受験に専念することから、高校の部員は、例年30名前後となる。チームのモットーは「ずばりチームワークです。そのため練習時に声を出して、互いの意見を出し合い、納得するまで話し合う。そして全員が練習で身体に染み込ませるよう心がけて

クラブ 訪 問

モットーはチームワーク

薫風爽やかな5月の屋下がり、母校体育館には、天井一面から、陽光が注ぎ込み大変心地よい。そんな中、バスケット部を訪ねた。

部は大所帯。指導の成田先生二人では、目が行き届かないので、外部コーチを一人招聘していること。ただ、進学校の宿命で、



います。」と主将の原田君。一方、成田先生に、指導のポイントを聞くと、やはりチームプレイの徹底とのこと。バスケットほど、人と人との連携、協力、信頼を基盤に置くスポーツはほかにない。その意味で、人間性を磨く絶好の場と捉えているようだ。また、文武両道を期すため、月、木は完

(安藤浩 記、北村隆 写)

完全に練習を休んでいる。最近の戦歴は、都大会で、ベスト16に留まっており、ベスト8を勝ち取る事が当面の目標とのこと。これだけの素晴らしいコートをもつだけに、ベスト4も狙える堂々たるシード校になってほしいものだ。

生物部

部員／中学24名・高校15名

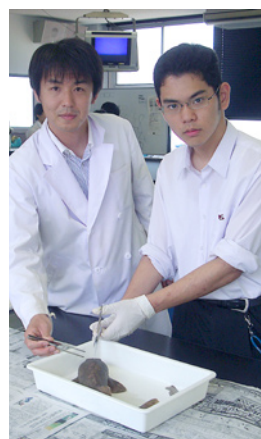
テーマは自由

生命にかかわる科学は、現代科学の先端を行く分野である。

5号館3階にある生物準備室を訪ねた。顧問の先生は石塚泰啓先生、関口伸一先生、鈴木元明先生の3人。

まず、活動内容を伺うと、学内実験室においては、小さな怪人ともいわれているク・マ・ジの休眠や両生類の変態に関する研究、校外研究としては、新宿区下落合の「おとめ山公園」でのフィールドワークや、埼玉県所沢市北野の谷戸にある休耕田の再生(「トトロのふるさと財団」の活動)への参加活

動があるという。石塚先生に指導方針を問うと、少し間をおいて、「生徒達が興味のある生物学的な現象を、自由に研究・観察・調査するような、生徒の自主性を尊重すること」との言。近々の目標は、「おとめ山公園」の研究成果を何らかの学会など、外部に発表したい」と意欲的。部長の斎藤琢人君の入部動機は、



大学で生物系を希望するためとのこととで、「部活動は、自分の興味に従ってグループをつくって活動できるので楽しい」と明るく答えてくれた。

(北村隆 記・写)

吹奏楽団定期演奏会

5月3日

会場の中野ZEROホール前には、すでに女学生や父兄の方々が、列を作っている。会場に入れば、受付や案内など、サポート役の若々しいお母様方が目立ち、先の女学生の姿とともに、華やいだ雰囲気、いつそう盛り立てている。あのむくつき男の集団だった、かつての海城を知る者にとっては、まさに別世界の感。司会進行役の福島先生の折り目正しい挨拶で、オープン。

第一部は、Americanaなど、トランペットの華やかな音色が際立つ。そのなかで、The Penny-Whistle Songのフルートは、じつに柔らかく、滑らか…。それとは対照的にMagic Slideのトロンボーンが軽快なテンポで、観客を惹きつける。

第二部は映画音楽特集。ヘンリー・マンシーニのヒットメドレーなど、おなじみのメロディーが、心地よく響く。デイズニーの「Oh Happy Day」では、観客も手拍子で合わせる。

第三部では、「海鳴り」が出色の出来。

豪快な和太鼓による、こうしたオリジナルに意欲的に取り組んだ団員諸君や、佐藤先生はじめ熱心にご指導いただいた先輩団員の方々に、大いなる拍手を送りたいとおもいます。「海城に吹奏楽団あり」との声、一段とたかまりつつあるのは、嬉しい限りです。

(安藤浩 記)



那須高原海城中学・高等学校教頭

塩田顕一郎

大学のユニバーサル化が進む今、大学合格がゴールではありません。これからの中等教育に求められるのは、大学のその先を見据えた進路指導、キャリア教育です。全寮制である本校は、毎日の寮生活すべてがキャリア教育です。

野菜づくりや牛の世話を体験

親元を離れた自立した生活を通して、自分の夢を発見し、その夢を実現できるとの夢を目指します。そのための「昼夜一贯」した学習進路指導を行えるのが全寮制の本校の強みとなっています。

す。今後は牛の出産にも立ち会えばと
考えていて、全寮制ですので深夜の出産
であってもすぐに駆けつけられるでしょう。
生徒にはこうした地域交流を通して環
境・食糧問題や食育、生命の尊さなど
を肌で感じながら学んでもらいたいと思っ
ています。

那須高原海城中学・高等学校では那須の地を生かした地域交流活動を積極的に行っています。寮に隣接する畑では、今春入学したばかりの中学1年生がジャガイモ・サツマイモ・カボチャ・トウモロコシの植え付けをしました。大都市から那須にやって来た生徒が大半ですから、これまで農作業の経験はなく、鍬など握ったことがありません。ですので、1年生は学校がある夕狩地区の農家の方々から手取り足取り丁寧に教わりながら、農業体験をしました。秋に開かれる地域の方々との収穫祭が今から楽しみです。

また、学校の前に昨夏オープンした「森林／牧場那須」での特別講座「牛と学ぼう！」が4月から開講しています。森林／牧場はジャージー牛を森の中に24時間放牧していて、酪農と林業の融合による持続可能な「森林酪農」を実践している牧場です。生徒8名が受講し、牛の世話や森の手入れなどのお手伝いをしています。



那須高原海城中学校・高等学校 平成22年度 大学入試結果報告

平成22年5月28日

国公立大学

大学	学部
大阪	外国語
岡山	理
岡山	工
神戸	海事科学
埼玉	工
電気通信	情報理工

私立文系

大学	学部
神奈川	法
慶応義塾	総合政策
専修	法
中央	法
同志社	法
獨協	法
白鴎	法

大学	学部
明治学院	法
駒澤	経済
成城	経済
専修	経営
玉川	経営
帝京	経済
東京理科	経営
獨協	経済
武蔵	経済
明治	政治経済
大阪芸術	芸術
二松学舎	文
國學院	人間開発
東洋	文

私立理系

大学	学部
青山学院	理工
神奈川工科大学	工
久留米工科大学	工
芝浦工業大学	工
芝浦工業大学	工
東海大学	工
東京電機大学	理工
東京理科大学	理工
法政大学	理工
立命館大学	理工
立命館大学	理工
学習院大学	理
中部大学	生命健康科学
東邦大学	理
福岡工業大学	工
酪農学園大学	酪農

医歯薬系

大学	学部
川崎医科	医
昭和	歯
昭和	歯
日本	松戸歯
城西	薬
東京薬科	薬

海外留学

ロンドン大学インペリアルカレッジ(バイオケミカル)
ニューヨーク州立大学バッファロー

専門学校

東京医療福祉専門学校
宇都宮メディアアート専門学校

[illegible]

永年会費を納入されている方にも、封入作業の都合で、会費の振込用紙が同封されていますが、悪しからずご了承ください。

永年会費納入者
(敬称略)

完全6年一貫教育体制の確立を目指す

来年度から高校の募集を停止

来年度から高校の募集を停止するという発表を聞いて驚いています。大きな決断のように思えますが…

公式の発表は今年4月ですが、学園としてはこの6年制一貫教育の実現を目指して20年以上も前から準備を進めてきました。もう少しはやく、3年ぐらい前に踏み切りたかったのですが、諸事情で来年度からの実施になりました。目標とする完全6年一貫体制が確立す

るまでこれから6年かかります。でも近年の社会変化を考えると今が最後のチャンスだと思います。確かに大きな決断ですが、必ずや学園の将来の発展に結びつくものだと思っております。

具体的にはどのような姿を目指すのですか

最終的な姿は、中学から高校まで1学年8学級、中高一貫計で48学級の体制とするというものです。実はこの体制を目指して、昭和57年から5度にわたって順次中学の学級を1つずつ増やし、その分逆に高校の学級を減らして、そ

の姿に近づけてきました。その結果現在では中学が1学年7学級、高校は9学級の合計48学級という体制までになっています。そして来年度からは高校の募集を止め、中学を1学級増やして8学級とすることになります。具体的には中学でのみ320名（1学級40人で8クラス）の生徒を募集します。

この改革の狙い、目標は何でしょう

建学の精神とビジョンである「国家社会に有為な人材を育成する」ということにあります。そのためには学力という見える部分だけの教育ではなく、人間教育といえます。フェアーな精神で物事を判断でき、明確に意思を伝える能力など見えない部分の教育が重

要だと考えています。特にこれから求められるのは異文化、多文化社会でのコミュニケーション能力を持った国際的なリーダーとなる人材です。それには人間形成の基礎的な時期である中学1年、2年の教育が極めて重要なのです。教育のエネルギーを中学からに集中することで、この目標を実現したいと考えております。

実際の教育内容としてどのようなことをお考えですか

来年度の中学320名の募集のうち30名は帰国生を予定しています。それだけ海外で生活している人が増えていることもありますが、異文化の社会で生活し、様々な体験をしてきた帰国生たちを受け入れていくことで、帰国生・一般生がお互いに多文化社会のなかでの共生を体感することになると考えています。お互

いの長所・美点を引き出しあう中で有為な人材を育成してゆくことができるのではないかと考えています。

またこれまでも他校に先駆けで実施してきたプロジェクト・アドベンチャー（PA）といった野外でのチームでの体験学習や演劇をベースにしてコミュニケーション力や表現力をつけるドラマ・エデュケーションといった体験学習プログラムなどをさらに導入・拡大してゆく方針です。また海外研修などもこれまで以上に充実させるなど、いま教員一人一人が真剣に考えています。

この改革の目に見える成果が、でもまで何年かかるでしょうが、将来ここから直接オックスフォードとかハーバードを目指すような人を育てられたらと思っております。

海原会総会でも古賀理事長および水谷校長が祝辞の中で紹介されていましたが、母校海城学園は来年度から高校の生徒募集を停止し、中学生の募集のみとするという大改革を実施します。その狙いや今後学園の目指す教育方針などについて水谷弘校長に伺いました。（聞き手 小西洋也）



「食のマナー」の改善で進学実績はさらにアップ？

春田 裕之 海城学園学習指導部部長

「食育」というと、とにかく栄養バランスのことが取り沙汰される。数年前の職員会議では、体

すると、エネルギーバランスなどを考慮する必要は無いのではないかとと思われる。問われるべきことは

食習慣と「食のマナー」ではなからうか。学校に「早弁」という言葉はもはやない。生徒は鳥かごの

も目につく。午前も午後も教室は食べ物と制汗剤の匂いでみせかえっている。

さて、今年の大学入試の結果でも第3志望という考え方はやや後退したのかもしれない。とにかくにも生徒の「食のマナー」を改善すると進学実績はさらに良くなるのではないかと密かに思っ



や脳のエネルギーのために、学校の給食時間を早めた方が良いのではないかとということが議論されたこともある。生徒の健康を考え、「早弁」を勧める教師もいるようだ。しかし、昨今の栄養事情から



食物を口にしていない。コンビニやファストフードの普及は、完全に食文化を破壊してしまったようだ。遅刻など気にすることなく、休み時間の飲食物を買って登校する生徒

変わらずである。また、閲覧では分

いる。

平成22年度 大学入試結果

国公立に212名、
医学系に121名

今年も海城生の躍進が目覚しい。今年の大学受験の傾向などを関係者に聞いたところ、医学系や法科系といった大学を目指す人が増えているとのことだった。入試の結果は一覧表の通り。

国立大学

2010年4月15日現在

	学部	総数	医	現役	医	卒業生	医
東京大学 前 48 後 1 合計 49 (現役34,卒業生15)	文I	5		4		1	
	文II	6		3		3	
	文III	8		4		4	
	理I	20		17		3	
	理II	9		5		4	
	理III	0		0		0	
	後期(理三除く)	1		1		0	
京都大学 合計 4 (現役1,卒業生3)	文	0		0		0	
	法	1		0		1	
	経済	0		0		0	
	教育	1		0		1	
	総合人間	1		1		0	
	理	0		0		0	
	工	0		0		0	
	医	0		0		0	
	薬	0		0		0	
一橋大学 前 20 後 3 合計 23 (現役11,卒業生12)	農	1		0		1	
	法	3		2		1	
	経済	12		6		6	
	商	6		2		4	
東京工業大学 前 13 後 4 合計 17 (現役10,卒業生7)	社会	2		1		1	
	第1類	1		1		0	
	第2類	1		0		1	
	第3類	2		1		1	
	第4類	2		1		1	
	第5類	3		2		1	
	第6類	2		0		2	
旭川医大	第7類	6		5		1	
		1	1	0		1	1
帯広畜産大		1		1		0	
北海道大		3	1	0		3	1
東北大		9	4	5	1	4	3
山形大		3	3	0		3	3
筑波大		9	4	6	3	3	1
宇都宮大		1		0		1	
群馬大		1	1	0		1	1
埼玉大		7		2		5	
千葉大		12	2	9	2	3	
東京海洋大		1		1		0	
電気通信大		2		2		0	
東京医歯大		6	4	6	4	0	
東京外大		4		1		3	
東京学芸大		1		1		0	
東京農工大		11		7		4	
横浜国立大		8		6		2	
新潟大		3	3	1	1	2	2
福井大		1	1	0		1	1
山梨大		2	2	1	1	1	1
信州大		4	4	2	2	2	2
岐阜大		1	1	0		1	1
浜松医大		2	2	0		2	2
名古屋大		3	1	2		1	1
大阪大		3		1		2	
神戸大		2		0		2	
島根大		1	1	0		1	1
札幌医大		1	1	0		1	1
首都大東京		5		2		3	
横浜市立大		3	3	1	1	2	2
大阪府立大		1		0		1	
防衛医科大学校		7	7	4	4	3	3
国公立大学・大学校総計		212	46	117	19	95	27

私立大学

2010年4月15日現在

	学部	総数	医	現役	医	卒業生	医
早稲田大学 合計 215 (現役124,卒業生91)	文	9		7		2	
	文化構想	12		5		7	
	法	26		16		10	
	政治経済	34		18		16	
	商	24		12		12	
	社会科学	15		11		4	
	教育	16		8		8	
	人間科学	8		4		4	
	国際教養	10		7		3	
	基幹理工	12		6		6	
	創造理工	9		3		6	
	先進理工	36		24		12	
	スポーツ	4		3		1	
慶應義塾大学 合計 173 (現役94,卒業生79)	文	5		4		1	
	法	19		9		10	
	総合政策	5		4		1	
	経済	40		21		19	
	商	34		14		20	
	理工	47		28		19	
	環境情報	5		4		1	
	医	2	2	2	2	0	
	薬	16		8		8	
酪農学園大		1		1		0	
岩手医大		2	2	0		2	2
獨協医大		3	3	1	1	2	2
文教大		1		1		0	
東京歯大		1		0		1	
青山学院大		9		2		7	
亜細亜大		2		0		2	
学習院大		8		5		3	
北里大		12	5	7	2	5	3
杏林大		12	11	3	3	9	8
国学院大		5		2		3	
国際基督教大		10		5		5	
駒澤大		3		1		2	
芝浦工大		11		9		2	
順天堂大		9	9	6	6	3	3
上智大		61		32		29	
昭和大		6	6	3	3	3	3
成蹊大		11		4		7	
専修大		7		2		5	
大東文化大		4		0		4	
玉川大		1		0		1	
中央大		80		43		37	
帝京大		5	1	2		3	1
東海大		1		1		0	
東京医大		4	4	0		4	4
東京経大		2		0		2	
東京工科大		1		0		1	
東京慈恵会医大		8	8	6	6	2	2
東京電機大		4		2		2	
東京都市大		2		1		1	
東京農大		1		1		0	
東京薬大		2		1		1	
東京理大		119		66		53	
東邦大		1	1	1	1	0	
東洋大		2		0		2	
日本大		23	5	10	2	13	3
日本医大		13	13	4	4	9	9
日本歯大		1		0		1	
日本獣医生命大		3		3		0	
法政大		19		6		13	
星薬大		2		1		1	
武蔵美大		2		0		2	
明治大		88		37		51	
明治学院大		5		1		4	
明治薬大		1		0		1	
立教大		34		19		15	
麻布大		3		3		0	
昭和音大		1		1		0	
聖マリアンナ医大		2	2	1	1	1	1
横浜薬大		1		0		1	
金沢医大		1	1	0		1	1
藤田保健衛生大		1	1	0		1	1
同志社大		1		1		0	
立命館大		2		0		2	
産業医大		1	1	1	1	0	
私立大学総計		1003	75	514	32	489	43